

活力あふれる 住みよい長崎!



長崎市議会議員

しげ ひさ No.76 井上重久 だより

令和7年4月 発行責任者 井上 重久 編集責任者 永石 正司 長崎市水の浦町1-1 TEL095-861-6032



代表質問に登壇

2025年度重点プロジェクトの主な事業

※予算額は1万円単位を四捨五入

項目	事業名	予算額
経済再生	まちなぎわい創出事業 (長崎スタジアムシティ関連)	1億133万円
	★子ども体験創出事業 (長崎スタジアムシティ関連)	2,860万円
	★商店街等プレミアム付商品券発行支援 (令和7年2月補正分)	3億6,000万円
	★チャレンジ企業応援事業費補助金	1億円
少子化対策	販路開拓促進事業	4,542万円
	障害児通所支援費	1億314万円
	★5歳児健康診査費	3,607万円
	★こども誰でも通園事業費補助金	2,240万円
新市役所創造	子育て住まいづくり支援費補助金	2,400万円
	★人事給与管理システム運営費	2,987万円
	★職員安全衛生管理費ほか	4,471万円
	脱炭素先行地域づくり事業費ほか	2億5,513万円
	がんばらば長崎市応援寄付推進費	9億8,469万円
	★広報戦略推進費	1,050万円

★は新規

代表質問(要旨)

1. 市長の政治姿勢について
質問: 任期後半半年の留意すべき政策の重点プロジェクトの取組みは?

回答: 市長に就任してから、人口減少のスピードを緩め、ひいては持続可能なまちをめざすため、「経済再生」「少子化対策」「新市役所創造」の3つの重点プロジェクトのアクションプランに基づいて取組みを進めている。長崎市の人口構造を見ると、高齢者世代の割合

合が非常に大きく、相対的に子どもを産み、育てる若い世代が少ない状況にある。そのため、出生数と死亡数の差による自然動態は、一朝一夕に改善することは難しい。一方で、社会動態に関しては、政策や取組みの効果が現れやすい面もあり、魅力的な雇用の創出や、子育て世代が暮らしやすいまちづくりを進めることで改善が期待できる。経済再生プロジェクトでは、新たな産業の創出や魅力的な雇用の場の創出として取

活動の備忘録

1月~3月



連合長崎総決起集会 (3月1日 旧県庁跡地広場)



長崎市スポーツ表彰式 (2月3日 長崎県勤労福祉会館)



長崎市消防出初式 (1月7日 出島メッセ長崎)



第71回福田中学校卒業証書授与式 (3月14日 福田中学校体育館)



福田バイパス建設促進期成会総会 (2月14日 福田地域センター2階)



長崎市20歳のつどい (1月12日 長崎スタジアムシティ ハピネスアリーナ)

総務委員会報告要旨(3月3日~3月10日)

◆職員安全衛生管理費(録音装置等設置業務) : 3,497万1千円

カスターマーハラスメントにより精神的な苦痛などを受ける職員の心身への影響の軽減を目的に、電話によるカスターマーハラスメントを抑制するため録音アナウンス及び録音機器を導入する。

◆ながさきピース文化祭2025長崎市実行委員会負担金 : 6,731万1千円

◆消防車両等整備事業費(消防ポンプ自動車整備ほか) : 1億1,030万円

◆新市庁舎建設事業費(市庁舎跡地再整備等) : 4億2,390万円

各種災害に対応するため、現在配置している老朽化した消防車両及び機器を代替更新するもの。新市庁舎への機能移転にとまない、旧市庁舎別館の建物を解体し、その跡地に都市公園及び公用車駐車場を整備するもの。都市公園は国道34号に面するように整備し、併せて、背面の長崎県勤労福祉会館前の市道との高低差を活かして、都市公園の地下に公用車駐車場を整備する。



編集後記

▼会派代表質問における市長の政治姿勢では、これまでも取り組んで来た人口減少対策のアクションプラン「経済再生」「少子化対策」「新市役所創造」など成果・効果が見えにくいの声を賜り、鈴木市長の見解を求めた。公共施設マネジメントは、平成17年・18年の長崎市の地町村合併を経て、平成22年3月に「公共施設活用特別委員会」を設置し、調査検討を行い、これまで一般質問を行ってきたもので、前進することを期待する。

▼すでに古希を過ぎれば、体力・気力が落ちていくのを感じつつ、卒業式や入学式、入社式など新たな旅立ちと出逢いを迎えるなか、それぞれの生活がスタートする。子ども達を送り出す両親を含めた家族の想い、夢や希望を抱きながら旅立つ地域の子ども達。遠い昔の自分の姿を思い出しながら、人生節目の中では様々な出来事に遭遇するのはごく当たり前、難しいことへの対応や大きな壁もあるが、何事にも逃げないで前向きにチャレンジしてほしい。

ご相談はお気軽に!

長崎市議会議員 井上重久



自 宅 長崎市大浜町408 ☎865-3553
生活相談室 長崎市水の浦町1-1 ☎828-7422
http://inoueshigehisa.net/



井上重久ホームページはこちらから

一般会計当初予算2,413億円、52の議案を可決・同意!



令和7年第2回長崎市議会定例会は、2月19日から3月13日までの23日間の日程で開かれました。一般会計当初予算は、歳入・歳出で2,413億4千万円(前年比4.5%増)。歳入では、自主財源の市税は601億6,100万円(前年度比9.3%増)で過去最高、一方国庫支出金や地方交付税などの偉人財源は歳入の6割を占めている。歳出では、障害福祉や子ども関連の扶助費、新東工場建設事業等の投資的経費の影響で、過去最大規模の予算編成となった。重点プロジェクト関連予算は、総事業209件(148件)、総予算額約39.4億円(+5.4億円)など。特別会計当初予算案は1,114億8,710万6千円、企業会計当初予算案は374億2,946万5千円の総額3,902億5,657万1千円が可決された。

条例改正は、一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正、長崎市消防団員退職報償金条例の一部改正など。工事の請負契約の締結について(琴海中学校校舎ほか解体工事)、工事の請負契約の一部変更について(重要文化財旧オルト住宅主屋ほか2棟保存修理工事ほか)。財産の減額譲渡について(伊王島1丁目)、市道路線の認定について(認定5件)、包括外部監査契約の締結についてなど、人事4件、予算20件、条例13件、その他13件、報告1件、議員提出議案1件の合計52件を可決・同意した。



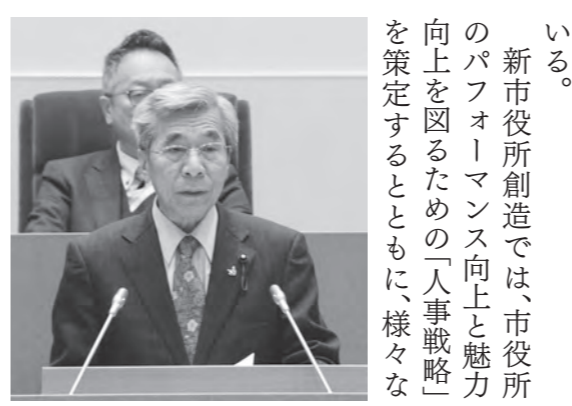
保存修理及び耐震補強工事整備費 1億7,180万円
旧オルト住宅



長崎ランタンフェスティバル負担金 1億1,738万4千円

組んでいる。地場事業者が働く世代から選ばれる職場を指して、「事業者の求人数に対する平均充足率」では、人材確保のために、昨年度支援した企業において62人の採用につながった。また、長崎駅周辺の再開発、長崎スタジアムシティの開業効果になどにより、令和6年度の転出超過は昨年の2,308人から1,711人となり、約600人改善している。

少子化プロジェクトでは、子どもの数を増やすという視点で、まち・ひと・しごと創生総合戦略における「婚姻数」「出生数」をあげる中で、新たな取り組みとして交際や結婚希望者に対する支援として出会う場の創出などに取組んでいる。



再質問：長崎南北幹線道路の整備に伴う平和公園スポーツ施設の再配置は？

回答：平和公園スポーツ施設の再配置は、「陸上競技場にプールを配置し、中部下水処理場跡に陸上練習場として400mトラックを再配置する」ことが適当であると判断している。令和7年度は、スポーツ施設の規模や配置等の検討とイメージパースの作成を進め、市民の皆様により理解を深めていただけるよう取り組みこととしており、中部下水処理場跡が使えるようになる令和10年度から、順次、整備を実施していく。



南北幹線道路浦上川線沿い

2. 公共施設マネジメントについて

質問：公共施設マネジメントの推進における削減目標の51億円にむけての進捗状況は？

回答：長崎市では、次世代に大きな負担を残すことなく継承できる持続可能な公共施設へと見直すため、マネジメントの実施計画である地区別計画を策定し、公共施設の複合化や集約化、民間移譲を進めている。現在、多くの公共施設が老朽化し、多額の建替えや改修の費用が必要となっており、一方で、急激な人口減少などにより長崎市の歳入は減少傾向にある。

【公共施設の延床面積等の削減実績】

	2015年 H27.4.1 ①	2025年 R7.3.31 ②	削減延床面積 (2015~2025) ②-①	削減率 (②-①)/①	削減効果額 (2015~2025)
学校	626千㎡	571千㎡	▲55千㎡	▲8.8%	▲94億円
住宅	626千㎡	608千㎡	▲18千㎡	▲2.9%	▲39億円
その他	590千㎡	547千㎡	▲43千㎡	▲7.3%	▲88億円
合計	1,842千㎡	1,726千㎡	▲116千㎡	▲6.3%	▲221億円

在り方や適正規模となるよう、マネジメントの取組みが大変重要と考える。公共施設の延べ床面積は、平成27年度時点の184万2千㎡から令和6年度末時点で172万6千㎡となり、面積で11万6千㎡、率にして6.3%を削減しており、その削減効果を約221億円と見込んでいる。



ノルウェージャン・スカイ&ノールダム(2025.3.11)

これまで長崎市は、開業の機運醸成や開業効果の最大化を目指し、市内周遊・滞在促進、消費拡大に取り組んでいる。開業後の経済波及効果は約963億円、年間想定利用者数は約850万人が見込まれ、開業から3か月で140万人の来場、プロスポーツの試合がある週末は2万人から3万人の集客があるなど、交流人口が拡大している。

質問：世界遺産の構成資産(特に端島)の保護・保全の取組み及び観光消費額の動向は？

回答：長崎市内には、「明治日本の産業革命遺産」の8つの構成資産が所在しますが、その一つ端島炭坑は護岸遺構を最優先に、生産施設遺構、居住施設遺構の順に保全する。護岸遺構は、現況調査、設計を経て令和5年度から補強工事が始まり、令和7年度は3期目の工事に着手する。生産設備遺構は、明治期の構造物である第3堅坑捲座跡の整備工事が令和6年度に完了予定である。

3. 観光振興について

質問：長崎スタジアムシティを軸とした交流人口の拡大に向けた取組みは？

回答：昨年10月14日に開業した長崎スタジアムシティは、交流人口の増加や雇用の創出の場など、民間主導による地方創生のモデルとなるものであり、地域の活性化に大きく貢献することが期待される。

2025年度長崎市一般会計予算の主な事業

※予算額は1万円単位を四捨五入

項目	事業名	予算額
市庁舎	市庁舎跡地再整備等	4億2,390万円
	都市基盤施設整備事業費(東長崎地区)	2億7,220万円
	土地区画整理事業(長崎駅周辺)	6億3,660万円
	市街地再開発事業費(大黒町地区)	1億1,239万円
	長崎駅東通り線整備費	3億7,660万円
企業誘致	新産業・起業チャレンジ促進費	3,999万円
	企業立地用地整備事業費	1億3,300万円
	伴走型デジタル企業応援事業費	1億円
農林・水産	森林整備促進費	4,077万円
	有害鳥獣対策費	1億173万円
	新規漁業就業促進費	1,014万円
	省エネルギー家電製品等購入費補助金	7,552万円
環境	次世代自動車購入費(電気自動車)	3,320万円
	地球温暖化対策市民運動推進費	2,686万円
	資源ゴミ処理費	5億176万円
	公営住宅建設事業費(三原団地)	5億8,420万円
住宅	ながさき住みよ家リフォーム補助金	1,500万円
	老朽危険空き家対策推進費	4,322万円
	放課後児童健全育成費	18億9,561万円
子育て	子育て支援センター運営費	1億1,451万円
	妊婦支援給付事業費(給付金・事務費)	1億8,172万円
	教育ICT推進費(小中高等学校)	8億5,029万円
教育	給食食材等調達費	1億6,310万円
	観光地域づくり推進費	2億8,196万円



明治日本の産業革命遺産「端島(軍艦島)」

んだものの、令和5年には1,435億円まで回復している。